

2014年3月発行 第25号

表千家旭川地区青年部

〒070-8003

旭川市神楽3条2丁目3-6

白井 恵理子方

表千家同門会旭川支部事務所内

花輪 かりん



クリスマス茶会にて。あさびーも一緒にです。

ご挨拶

表千家旭川地区青年部
部長 梶田直也

お陰さまで平成二十五年度、任期三年の最後の年を無事に終えることができました。新任の際は、部長経験者が二名在籍する心強い体制でスタートし、まず取り組んだのが「役員引き継ぎ資料」の作成。個人情報問題などで困難な作業でしたが、支部からの助言や担当者の調整でなんとか素案がまとまり、内規の施行へと前進して青年部活動の骨格づくりを終えました。

そこから「茶道の裾野を広げる活動」がより活発になりました。新入部員さんがWEBデザインなどとわかったことから、待望のホームページ開設に向けて急展開。歴史のコンテンツ作成にはOB会にも協力をいただき、とんとん拍子に十一月完成しました。

お手伝い三年目で青年部が引き継ぐことになった「茶の湯体験学習」も、スムーズにバトンタッチ。青年部伝統の「クリスマス茶会」では、小学生に茶会を体験してもらいました。青年部の皆さんのアイデアが随所に光り、主催者にもお客様にも心に残る茶会になったことと思います。

先輩の方々にもこの場を借りて御礼申し上げます。秋のOB会総会では「茶の湯を広めるた

～役員活動お疲れ様でした～

副部長 林 尚美さん

幹事 佐藤 美和子さん

(平成26年3月31日修了)

幹事 高田 美保さん

(平成25年5月28日退会)

「青年部にてたくさんのお会いや経験をさせていただき、皆様には心より感謝申し上げます。思い出に残る楽しい活動となりました」(林さん)

平成二十六年度からの三年間は、表千家旭川地区青年部の二十周年記念行事が続きます。初年度は平成十七年から九年ぶりとなる「京都研修旅行」が控えています。二十年の歴史で、青年部に携わったすべての方々、世代を超えて和やかに祝える周年行事になることを願っています。

おちゃとびっくす
Ochatopics 7一緒に
行こうよ

●旅程●

11月21日(金)～24日(月・祝) 3泊4日

11/21 旭川空港出発▶羽田空港▶伊丹空港▶京都駅▶ホテル▶自由行動

11/22 ホテル▶京都研修▶寺院茶室見学▶ホテル▶懇親会

11/23 ホテル▶絵付体験学習▶北山会館▶楽美術館▶二条城▶ホテル▶自由行動

11/24 ホテル▶自由行動▶京都駅▶伊丹空港▶羽田空港▶旭川空港

表千家旭川地区青年部
二十周年記念事業
「京都研修旅行」
参加者募集開始

願いは強かったものの、容易に行ける距離ではなく、夢のままになっていた京都への旅。ついに今年、二十周年行事として実現します！着物をまとい京都の町を一緒に歩きませんか？

「茶の湯体験学習」の〇×クイズをつくっているとき、部員から「ところでお茶の葉って…どんなの？」という素朴な疑問の声が。お茶といえば静岡！ということで静岡青年部さんに相談したところ快く苗木を送ってくださいました。つやつやした葉がきれい♪部員ひとり1鉢のお茶の木育てが始まりました。

現在3人の部員が、丹精込めて室内で栽培中。いつの日かこの茶葉で、茶摘みをしてお茶を点てることを夢見ながら。



お茶の苗木を育ててみました
静岡青年部さんの協力で

茶道の裾野を広げる一環として
旭川地区青年部公式
ホームページ開設

見てね!

念願のホームページを立ち上げました!日々の活動や青年部についての情報をアップしていますのでご覧ください。茶の湯に関心を抱くきっかけになればうれしいです。Facebookも同時に開設していますので「いいね!」をよろしくお願いいたします。



平成二十六年度の活動予定

4月 定例総会

5月 茶の湯体験学習

6月 赤い実の洋燈茶会

国際家具デザインコンペティション旭川2014呈茶

秋 学習会

10月 茶の湯体験学習

11月 京都研修旅行

1月 成人式呈茶・新年会

献茶式の準備が始まりました

20年の節目をどのように祝うか?これまで青年部の皆さんが望んでいたことを事業化し、平成26年度からの3年間で実施していく計画です。最終年である平成28年度は支部主催の献茶式でひとつの席を受け持ち、20周年を祝います。

青年部役員引き継ぎキットもうすぐ完成

「次期役員への引き継ぎ」をよりスムーズに行うために、わかりやすいキットを作成します。素案がまとまり、次期役員で使用して完成度を高めていきます。



あなたもお仲間になりませんか?

興味のある方は
お気軽に新入会員
募集中

入会資格 表千家不審菴入門者で、十八歳から四十五歳までの青年男女ならどなたでも入会できます。

入会方法 先生を通じて同門会旭川支部にご連絡ください。青年部より申込用紙と振込用紙をお送りいたします。

年会費 年間二千元(税込み)

1月25日

■新年会
花まる亭

OB西倉さんのご紹介で今年も楽しい集まりとなりました。来年度から始まる20周年行事に向けて、話題も豊富で賑やかな新年会でした。



12月15日

■クリスマス茶会
ロワジールホテル旭川

猛吹雪にもかかわらず250名のご来場で賑やかな茶会に。初めての試み「あさっぴー席」も、茶席に入られた方があたたかく見守ってくださり終始和やかでした。



10月10日

■旭川支部
「三浦綾子記念茶会」
お手伝い
三浦綾子記念文学館

支部主催の茶会に参加。森林に包まれた館内で市民の皆さんを迎えました。



10月20日

■旭川支部
「秋の茶会」お手伝い
花月会館

2回目になるお手伝いをしました。青年部の活動の場と気づかせていただき感謝です。



11月

10月

10月3日

■茶の湯体験学習
緑が丘小学校

お点前の前にプロジェクターで「お茶のおはなし」をしました。抹茶になるのと同じ茶葉からいろいろなお茶ができることを、〇×クイズで紹介。



9月7日

■学習会「陶芸家から習う
お茶碗づくり」
旭川市市民交流センター

かし葉薫の坂東光雄先生をお迎えし、お茶碗づくりを行いました。札幌青年部さんも参加され和気あいあい、笑顔で楽しい交流のひととき。



6月9日

■支部総会にて青年部PR
ロワジールホテル旭川

茶の湯体験学習など、青年部の活動を報告する場を設けていただきました。茶会以外の活動をご理解いただくよい機会に。



6月16日

■赤い実の洋燈茶会
井上靖記念館

井上靖記念館で行う茶会は2年目へ。学生さんのお手伝いもいただき、市民の皆さんに抹茶を振る舞いました。青年部恒例茶会へ!と願う私たちです。



赤い実の洋燈にちなんだ注文したお菓子。
銘「ナナカマド」 もり屋 製

7月21日

■学習会「写経」
扇松園

赤い実の洋燈茶会の反省会后、筆を取って写経を行いました。静かで集中した時間の中、お釈迦様のお話でありがたい気持ちに。



8月18日

■札幌青年部「開拓の村茶会」
開拓の村(野幌)

毎年の楽しみのひとつ「開拓の村茶会」。今年は奥の間の席で、いつもと違う楽しみ方ができました。



5月30日

■茶の湯体験学習お手伝い
緑が丘小学校

小学6年生に、季節のお菓子を味わう時間と、お点前を体験してもらいました。青年部がお手伝いをして3年目。次回からは役割の幅を広げて取り組みます。

4月21日

■定例総会
旭川市市民交流センター

数年を費やして作成した「内規」の承認をいただき、男性1名を含む期待の新入部員3名の紹介もできました。



お茶を学び、楽しみ、
成長したこの一年

小学校に向向いての茶の湯体験学習や、ユニークな企画で若い方にも参加していただけたクリスマス茶会など、平成二十五年度も青年部ならではの活動がいっぱいでした。

平成
25年

new
face

～青年部に入会して～

表千家青年部は全国に四〇以上ありますが、ホームページのあるところはまだ少数。その中で、旭川地区青年部が今年度ホームページを立ち上げることができました。



お茶の広まりをホームページでも応援

鶴間 徹さん

です。お茶を始めてまだ一年ほどですが、これからはお茶を通して日本の文化を学び、仕事であるホームページの制作にも役立てて行けたらと思っています。



心地よい緊張感

私は平成二十五年十一月に青年部に入会いたしました。初めて関わらせていただいた行事がロワジールホテルでの「クリスマス茶会」。スタッフというよりはお客様のような目線で、大きなツリーやさまざまなクリスマスの飾り付けにワクワクし、あさっぴーのかわいらしい姿に興奮しつつ参加させていただきました。青年部で年齢の近い方々と一緒に勉強させていただくことで、自分の中で今まではまだ



「あさっぴー」をサポートする大役を

浦田麻衣さん

ひと苦勞でしたが、青年部で準備したあさっぴー用大きなお茶碗でお茶をいただき、亭主に教えてもらいながら最後にはお茶碗の拝見までできるようになりました。子どもだけでなく、大人の皆さんにも楽しんでいただけたのでは、と思います。

少し違う緊張感が生まれ、お稽古に対しての姿勢や気持ちに更に引き締まったように思います。まだまだ勉強不足ですが、少しずつ皆さんに近づけるよう努力したいと思います。よろしくお願いたします。

伊藤 悠さん



プロジェクターを見る目の輝きが印象的でした。

茶の湯クイズにチャレンジ。 緑が丘小学校 茶の湯体験学習

パワーポイントを使って。

寒い北海道ではお茶の木が育たないので、多くの北海道民はお茶の木を見たことがありません。そこでお茶の木について調べ、それをpower pointを使って視覚に訴えながらわかりやすく説明し、〇×クイズにして出題しました。抹茶もほうじ茶も、紅茶やウーロン茶も同じお茶の木からできてくることに、みんなびっくり。

茶の湯を 子どもたちに 若い方に



なんとあさっぴーがお茶席に!

恒例 クリスマス茶会2013

クリスマス茶会は平成15年に初めて開催され、同17年・20年と世代ごとに趣向を凝らして受け継がれている、旭川青年部の誇れる茶会です。4回目の今回も、新しいアイデアを持ち寄っての開催となりました。

猛吹雪にもかかわらず250名ものご来場があり、初めての「あさっぴー席」もあたたかく見守っていただき大成功でした。



あさっぴーを呼ぼう!

多くの市民に気軽に参加してもらうには?子どもたちに関心を抱いてもらう方法は?議論を重ねるさなか、「あさっぴーを呼ぼう」と声が上がりました。あさっぴーと何をしよう?どんな動きができるの?そこで、あさっぴーに会いに行つて器用さを確認(笑)。リハーサルに参加してもらいながら台本をつくっていったのです。



教える側も勉強に。

「抹茶が苦そう」「足がしびれそう」「難しそう」…。小学生が持つそんな「お茶」のイメージを少しでも取り払うことができたかと考え、日常生活にも繋がるお茶の所作の説明などをしました。教えている側も勉強になることが多く、改めてお茶の道に精進しようという思いを抱いた部員も多かったようです。

茶の湯を体験した 子どもたちから お手紙が届きました



いつも市内の学校の茶道部に呼びかけてお手伝いを募っていますが、今回はあさっぴーが来るとあってか(笑)これまでにない4校が参加。



ケーキと紅茶で茶席の余韻を楽しめる「ケーキ会場」を併設。青年部の活動をスライドとパネルで紹介しました(ショートケーキが品切れとなりご迷惑をおかけしました)。



当日あさっぴー席大人気!あさっぴーと一緒に抹茶を飲もう!と銘打った「あさっぴー席」は、茶の湯体験学習の子どもたちはもちろん、意外にも茶会が初めての大人の方にも楽しんでいただけたようで、写真を撮るなどしていらつしやいました(想定外の人数に、受付が混乱し反省点多数)。



テーブルにお腹がつかえちゃう～
2度左に回すんだね

新世代への戸惑い。
スマホを片手にお抹茶を味わう姿には、大いに戸惑いましたが(笑)、「抹茶おいしかった!」という言葉も聞きました。この成人式呈茶を継続し、日本の伝統文化を新成人にうまく伝えられないものかと、青年部一同自問自答しています。



白井副支部長とOB会高木さんとの一枚。

三者連携で早期実現。
青年部が誇れるものとして、あたたかな親心でご指導いただいている表千家同門会旭川支部、力強くバックアップしてくださる「表千家旭川地区青年部OB会」(平成十五年青年部定例総会にて正式承認)があります。成人式呈茶は、この三者連携により実現しました。



旭川市民文化会館ロビーは、生まれたての“大人”でいっぱい。

成人式会場に
日本の文化を。
「旭川市成人を祝うつどい」にて、支部と合同で呈茶を行いました。初めてのことでスムーズに進行するか不安でしたが、鮮やかな振袖や真新しいスーツ姿の新成人三五〇名に、お抹茶を味わっていただくことができました。日本の文化に触れてもらう機会にもなっていると思います。

二十歳を寿ぎ、
一服を。
呈茶
旭川市成人を
祝うつどい